

ベトナム・ハノイでのプロジェクトの現状

JICA「ハノイ公共交通改善プロジェクト」について

西日本鉄道株式会社
2014年1月28日

ハノイのバス事業の現状

行政

ハノイ市交通局 (HDOT)

TRAMOC(チャモック) 【バス事業の計画・運営・監督】

委託 || 契約

バス会社
【実際の運行】

TRANSERCO(トランセルコ)

BAC HA

DONG ANH

BAO YEN BUS



- ・路線数 約 70路線
- ・運行台数 約 1,200台
- ・運賃 5,000～7,000VND (約25～34円) ※遠距離路線除く
- その他 定期券(45,000～140,000VND)もあり

ハノイの現状



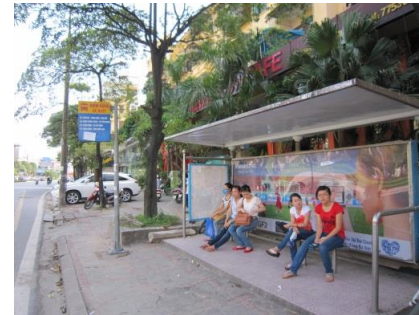
市内バス



混雑する
中心部



バス専用レーン
(中央が専用レーン。
左右が一般車レーン)



バスシェルター



バスターミナル

ハノイの現状

車載GPS装置を活用した運行管理



切符を発売する運行助手



バス車内

LED行先表示



整備場

車載カメラによる車内 オンライン監視



「ハノイ公共交通改善プロジェクト」概要

| | |
|--------|--|
| 実施期間 | 2011年7月～2014年6月（3ヶ年） |
| 目的 | オートバイや自家用車の増加で道路混雑が深刻化しているハノイにおいて、混雑緩和のために整備される都市鉄道開業までの間の緩和対策として路線バスへのモーダルシフトを図るべく、 バス利用促進施策を計画・実施する現地関係機関に対し、利用促進のためのパイロット活動の実施を通じて、関係機関の施策実施能力の育成・向上を図る。 |
| 現地関係機関 | ・ハノイ市交通局（HDOT） ・ハノイ市プロパガンダ局 ・TRAMOC（チャモック：交通局内のバス管理運営担当部門） ・TRANSERCO（トランセルコ：バス会社） など |
| 日本側専門家 | （株）アルメックVPI （株）交通総合研究所 西鉄 |

◆本プロジェクトは、JICAの技術協力プロジェクトとして実施

※技術協力プロジェクト： 現地への専門家派遣、日本などへの研修員受入、パイロット活動実施のための機材供与などを行い、現地関係機関への技術移転を中心に行うもの

おもなパイロット活動

◆公共交通計画策定能力の育成

- ・交通調査データに基づいたバス路線網の再編の検討、需要予測

◆交通管理対策実施能力の育成

- ・バス優先車線やパーク&ライド施設の整備検討
- ・乗換利便性向上のためのバス停および歩行区間の整備検討

◆バス利用促進に向けた啓発活動の実施

- ・コミュニティフォーラムや学生ディベートの開催

◆バスサービスの改善

- ・バスに関する情報提供の拡充(路線図の配布など)
- ・乗務員の運転操作や接客向上のための指導マニュアルの整備

◆バス定期券のICカード化

- ・IC化による利用実績の精度向上、データの管理・分析方法の検討

パイロット活動の様子

カウンターパートとの 打ち合わせ



学生達による討論

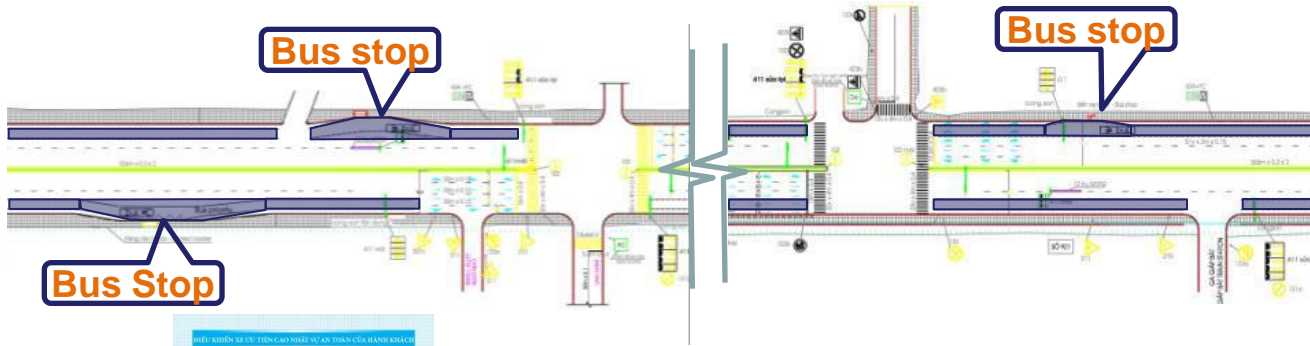
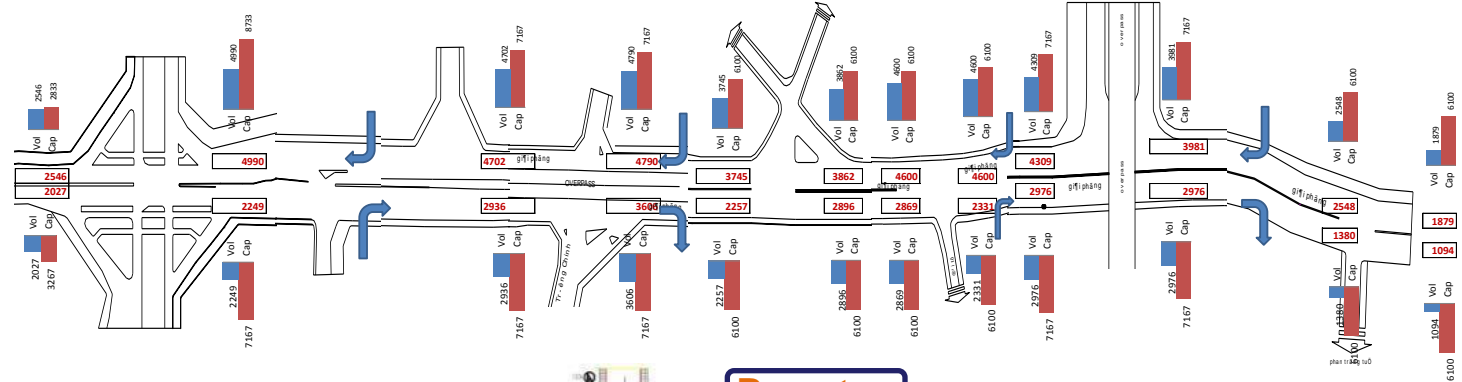


カウンターパートへの講義



パイロット活動の様子

交通量調査



バス専用レーンの整備検討



乗務員用運転&接客 マニュアルの整備

路線図の作成・配布

定期券のIC化パイロットプロジェクト

◆バス定期券の全てを紙券⇒ICカード化

- ・現存の4種類の全ての定期券を、新規発行 & 更新時にICカード化
- ・カード内チップには、定期券使用者の個人情報および定期券有効月の情報をインプット（約200,000枚の定期券をICカード化予定）

◆カードリーダーを車両に固定し、乗車時にタッチ

- ・利用者は、乗車時に車両に固定されたカードリーダーにカードをタッチする。カードリーダーは定期券の有効期限情報などを読み取る（パイロットプロジェクトでは、市内の1路線(約26台)に設置予定）

◆実施スケジュール

- ・ソフトウェアの設計,開発。関係機関との協議 2014年1月～5月
- ・設置準備、関係機関への教育 5月～6月
- ・サービス開始 7月～

※プロジェクト内容については、今後変更の場合あり。

定期券のIC化パイロットプロジェクト



既存の紙定期券



ICカード(Type C カードを使用予定)



車両に設置予定のカードリーダー



定期券発売所にて
紙⇒ICカードに変更